

様式1-1

事前協議書

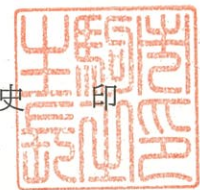
生地医第2号

令和8年4月10日

奈良県知事 殿

開設者の住所 奈良県生駒市東新町8番38号
(法人の場合は主たる事務所の所在地)

開設者の氏名 生駒市長 小紫 雅史 印
(法人の場合は名称及び代表者氏名)



病院の開設等に関する指導要綱第4条第1項の規定に基づき、下記のとおり、事前協議を申し出ます。

病院又は 診療所の名称	生駒市立病院			
病院又は 診療所の所在地	奈良県生駒市東生駒1丁目6番地2			
計 画 の 内 容	1 病院の開設 ② 病院の病床数の増加 3 病院の病床の種別の変更 4 診療所の開設 5 診療所の病床数の増加 6 診療所の病床の種別の変更			
事 業 計 画	別添「(様式2-1事業計画書)のとおり			
連 絡 先	担 当 者	氏 名		
		電話番号	FAX	
		E-mail		

事業計画書

(1) 開設(増床)等の計画

病院 又は 診療所	名称	生駒市立病院			
	所在地	奈良県生駒市東生駒1丁目6番地2			
開設者	氏名(名称)	生駒市長 小紫 雅史			
	住所(所在地)	奈良県生駒市東新町8番38号			
管理者	氏名	院長 遠藤 清	生年月日	昭和36年7月27日	
	医籍登録番号	第310370号	医籍登録日	昭和62年6月5日	
着工予定		令和8年6月1日			
開設予定 (増床後の使用予定日)		令和9年4月1日			
診療科目		内科、消化器内科、循環器内科、外科、脳神経外科、 整形外科、形成外科、小児科、腎臓泌尿器科、産婦人科、 リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、 血管外科、リウマチ科、皮膚科、糖尿病内科、眼科 (増床に伴い新設する科目：)			
病床数		既存(許可) 病床数 <a>	計画(増床) 病床数 	合計 病床数 <a+b>	病床利用率 (令和7年3月 ~8年2月)
	一般病床	230床	23床	253床	78.3%
	療養病床	床	床	床	%
	精神病床	床	床	床	%
	感染症病床	床	床	床	%
	結核病床	床	床	床	%
	計	230床	23床	253床	78.3%

新たに整備する病床の利用率目標と目標達成に向けた取組

【目標】

初年度は70%以上、次年度以降は85%以上の病床利用率を目指します。

【目標達成に向けた取組】

令和6年に在宅療養後方支援病院の認定を取得し、在宅療養患者の急変時の入院受け入れ体制の整備に努めています。

また、生駒市立病院は、公立病院が果たすべき役割である救急・小児・周産期などの機能を維持しつつ、高齢化の進展とともに必要とされる医療機能として、近隣の高齢者施設、訪問看護ステーション等との連携を進め、地域の高齢者及び在宅療養患者の急変時の医療需要に対応します。

(2) 設置（増床）する病床の内訳、機能、届出予定の入院料 等

軽症急性期23床（内科・在宅医療後方支援）として、在宅療養患者の急変時の入院受け入れとしての機能を持たせた病床とします。

増床申請する23床については、令和9年4月からの運用開始を目指し、整備を進めている6階東病棟に配置することとしています。

生駒市立病院における届出予定の入院料については、急性期病院B一般入院料を想定しています。

(3) 敷地及び建物の計画

		既 存	新 規	計
敷地の状況	面 積	5,500.03 m ²	m ²	5,500.03 m ²
	所有の状況	借地		借地
建物の建設計画 (増床の規模等)	建物の構造	鉄骨造		
	建物の面積	増床に係る面積：1,127.74 m ² （6階東病棟として整備中のエリア） 【既設建物】 建築面積 3,632.90 m ² ・ 延面積 28,094.34 m ²		
	基本設計	ヶ月	実施設計	ヶ月
	工事期間	ヶ月		

(4) 資金に関する計画

ア 事業費

(単位：千円)

					計

イ 財源

(単位：千円)

					計

借入計画について

(5) 医療従事者の確保に関する計画

医療従事者	現在の人員現在の人員 (R8.4.1 現在)			確保予定の人員 (R8 年度 4/2 以降に確保予定の人員)		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	28	92	9.69	4	0	0
看護師	191	23	17.63	12	3	2.0
准看護師	1	0	0	0	0	0
看護補助者	19	5	2.71	8	0	0
薬剤師	18	2	1.38	0	0	0
その他	122	10	6.59	5	0	0
計	379	132	38	29	3	2.0

確保の計画

人材確保にあたっては、医局等訪問、人材紹介業者による紹介などを基本とする。
また、状況に応じてグループ内からの応援をいずれの職種においても実施する。

(医師) 県立奈良医科大学を中心とした大学医局訪問、人材紹介業者の活用、
グループ施設を中心とした臨床研修医派遣(小児科、産婦人科)など
内訳) 5月入職予定 糖尿病内科医1名 内科医1名
6月入職予定 産婦人科医1名
10月入職予定 小児外科医1名

○医師定着に向けた研修体制整備に関する取組状況
当院では、地域医療を安定的に提供し得る医療体制の確保を目的として、医師の定着を図るための研修環境整備を進めている。現在、協力型臨床研修病院とし

て研修医を受け入れているが、将来的な基幹型臨床研修病院の取得を目指し、必要な体制整備を段階的に進めているところである。

1. 臨床研修体制の強化

基幹型臨床研修病院の取得に向け、研修プログラムの拡充、指導医体制の整備、症例確保のための診療体制強化など、基幹型として求められる要件の充足に向けた準備を進めている。

2. 専門医制度への対応

専門医取得を院内で完結できる体制を構築するため、以下の診療科において基幹施設・協力施設の認定取得を進めている。

- ・ 総合診療科：基幹施設として申請準備中
- ・ 糖尿病内科：専門医研修施設として申請準備中
- ・ 救急科・内科・小児科・産婦人科：協力施設として申請準備中

これらの認定取得により、研修医・専攻医が当院で幅広い臨床経験を積み、専門医資格取得まで一貫して研修できる環境を整備する。

3. 医師定着に向けた効果

上記の取り組みにより、

- ・ 研修医・専攻医が継続して勤務しやすい教育環境の確立
- ・ 専門医取得を見据えたキャリア形成支援の充実
- ・ 地域医療を担う医師の安定的な確保

が期待される。当院としては、引き続き研修体制の充実を図り、医師の定着と地域医療の質向上に努める。

(看護師) 看護学校への訪問及び説明会、実習受入、奨学金制度、院内紹介制度など

(薬剤師) 薬科大学への訪問及び説明会、グループ合同就職セミナー、実習受入など

(その他) 大学及び専門学校への訪問、実習受入（理学療法士、栄養士）など

※ 非常勤職員については、勤務時間に応じて常勤人数に換算した数も記入して下さい。

(6) 開設者が他の病院、診療所を開設している場合のそれらの病院等の概要

名 称	所在地					
	管理者	(医籍登録年月日・番号)				
	病床数	床	病床率	%		
	診察科目					
	医療従事者	医師	常 勤	名・非常勤	名	
	看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	准看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	薬剤師	常 勤	名・非常勤	名		
	検査技師	常 勤	名・非常勤	名		
	その他	常 勤	名・非常勤	名		
名 称	所在地					
	管理者	(医籍登録年月日・番号)				
	病床数	床	病床率	%		
	診察科目					
	医療従事者	医師	常 勤	名・非常勤	名	
	看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	准看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	薬剤師	常 勤	名・非常勤	名		
	検査技師	常 勤	名・非常勤	名		
	その他	常 勤	名・非常勤	名		
名 称	所在地					
	管理者	(医籍登録年月日・番号)				
	病床数	床	病床率	%		
	診察科目					
	医療従事者	医師	常 勤	名・非常勤	名	
	看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	准看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	薬剤師	常 勤	名・非常勤	名		
	検査技師	常 勤	名・非常勤	名		
	その他	常 勤	名・非常勤	名		

(7) 開設者と密接な関係を有する医療機関がある場合のそれらの病院等の概要

名 称	所在地					
	管理者	(医籍登録年月日・番号)				
	病床数	床	病床率	%		
	診察科目					
	医療従事者	医師	常 勤	名・非常勤	名	
	看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	准看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	薬剤師	常 勤	名・非常勤	名		
	検査技師	常 勤	名・非常勤	名		
	その他	常 勤	名・非常勤	名		
名 称	所在地					
	管理者	(医籍登録年月日・番号)				
	病床数	床	病床率	%		
	診察科目					
	医療従事者	医師	常 勤	名・非常勤	名	
	看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	准看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	薬剤師	常 勤	名・非常勤	名		
	検査技師	常 勤	名・非常勤	名		
	その他	常 勤	名・非常勤	名		
名 称	所在地					
	管理者	(医籍登録年月日・番号)				
	病床数	床	病床率	%		
	診察科目					
	医療従事者	医師	常 勤	名・非常勤	名	
	看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	准看護師	常 勤	名・非常勤	名		
	薬剤師	常 勤	名・非常勤	名		
	検査技師	常 勤	名・非常勤	名		
	その他	常 勤	名・非常勤	名		

(8) 開設又は増床等の背景・趣旨（令和7年12月19日に開催された医療審議会での協議結果を踏まえた上で記載）

I：自院の地域において担う役割、機能を記載

I 在宅医療の支援

【現状】

高齢者人口の増加が進む中、地域住民が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、在宅医療ニーズは増加しています。このため、在宅療養中の患者や施設等の入所者が、症状の増悪時などに円滑に入院治療を受けられる体制を整備し、救急医療の提供とともに、地域の在宅医療を支える役割を果たしていく必要があります。

【当院の取り組みと担うべき役割】

在宅医療ニーズに対応していくため、生駒市立病院では、肺炎や骨折、慢性疾患の悪化など、在宅療養中の患者や施設等の入所者の症状の増悪時には、速やかに入院治療を受けていただき、症状が回復すれば、自宅や施設に戻っていただけるよう努めています。その結果病床利用率は69.0%（令和5年5月～令和6年4月）でしたが、直近の病床利用率は78.3%（令和7年3月～令和8年2月）と増加しています。また、生駒市立病院は、令和6年6月から在宅療養後方支援病院の認定を受けるなど地域の在宅医療ニーズに対応すべく体制を整備しています。

Ⅱ：「Ⅰ」を踏まえ、開設又は増床の背景（地域において必要性が高い理由、増床する病床数の根拠）・趣旨を記載

Ⅱ 在宅医療等、高齢化社会に対する生駒市立病院の役割

生駒市立病院が属する西和医療圏の状況については、令和6年11月21日付け奈良県医発第1106号により奈良県医師会から発出された「西和医療圏における病床整備計画に関する意見について（回答）」において、「軽症急性期・回復期・慢性期病床がやや少なく」とされており、また、令和6年12月9日付け奈病協第67号により、一般社団法人奈良県病院協会から発出された「西和医療圏における病床整備計画に関する意見について（回答）」においても、「西和医療圏では、軽症急性期・回復期・慢性期の病床は不足しているが、重症急性期は既に過剰となっている。」とされているなど、軽症急性期・回復期・慢性期病床の不足が指摘されています。

このような現状を鑑みると、生駒市立病院を含む西和医療圏域においては今後更に軽症急性期病床の需要が高まることが予想されます。また、前述の一般社団法人奈良県病院協会から発出された意見において「今後増加が見込まれる高齢者救急などの急性期・回復期として整備することを検討されたい。」とあり、西和医療圏において今後増加が見込まれる高齢者救急などの軽症急性期・回復期の整備が必要と考えられます。

さらに、生駒市国保及び後期高齢者医療加入者の令和4年度における肺炎による入院先としては生駒市内で39.29%、奈良市に15.48%、大阪市に19.05%と隣接地への入院が多く見られ、西和医療圏内の他の病院での入院は7.14%となっています。今後はさらなる高齢化等により長距離の移動が困難な市民が増加し、症状の増悪時に自宅の近隣の医療機関への入院を希望されるケースも増加することが見込まれます。このような市民の医療ニーズに対応するためにも生駒市内での入院受け入れ体制の整備が必要です。

これらの現状を踏まえ、新たに配分を希望する23床については、在宅療養患者等の急変時の医療提供体制の構築のため、軽症急性期を中心とする病棟（一部の重症患者・回復期患者を含めフレキシブルに受け入れる病床）として整備する計画です。

入院患者の状況(生駒市立病院)

	R6年度	R7年度	R8年度 (計画値)	R9年度 (計画値)	R10年度 (計画値)
入院患者数	58,168	59,838	61,508	66,022	71,290
病床利用率	75.9%	78.1%	80.2%	71.3%	77.2%

入院患者の状況(生駒市立病院)

